

能勢朝次 （註） 國文學者、文學博士。明治二十七年四月一日京都府北桑田郡山國村生れ、昭和二十年一月二十五日歿（八九四—一九五五）。舊姓岩本。大正十一年京都帝國大學文學部國文學科卒。昭和十五年「能樂源流考」（昭和十二年十一月二十日岩波書店）（公より帝國學士院恩賜賞受賞。京都大谷大學、東京高等師範學校、東京教育大學等々各教授歴任。二十九年奈良學藝大學學長就任。

著書 「世阿彌十六部集評釋」全二冊（上・昭和十五年八月二十日、下・十九年八月二十五日岩波書店）、「幽玄論」（昭和十九年一月二十日五訂河出書房）、「連句藝術の性格」（昭和二十一年九月十五日富士書房）、（註）「花傳書・能作書」（昭和二十一年十一月二十五日大阪・新日本圖書株式會社「新日本文庫」）、「世阿彌の俳論」（昭和二十二年一月）二十日京都・大八洲出版株式會社「俳文學叢刊」）、（註）「世阿彌十六部集評釋上」（昭和二十四年八月八日岩波書店）、「連句と連歌」（昭和二十五年一月十五日要書房）等。

